

「^{きたひな}北日名のカヤ」 町指定（天然記念物）

所在地：大字坂城 3031 所有者：個人 指定：昭和 60 年 7 月 1 日

このカヤの木は北日名の字山口地籍のやや西に傾く南向き^{かんしゃめん}緩斜面上に立っています。^{かたわ}傍らに木造の^{しょうし}小祠があり、木はこの^{ほくら}祠の社地（東西約 18m、南北約 13m）の南西隅に立つことから、御神木の性格をもつものと考えられます。

県内まれにみる巨木です。樹高・枝張りが大であるため、日照をさえぎるということで、太平洋戦争中に大枝が何本も^き伐り落とされ、本来の^{じゅし}樹姿が損なわれたものの、依然として巨木の^{いよう}偉容を保ち、新しい枝を^{そうしゅつ}簇出させて^{おうせい}旺盛な^{じゅせい}樹勢を示しています。

寸法 幹周約 5.3m、根回り約 6.5m、樹高約 19m

